

～透析中の血圧低下とその対処について～

今回さくら通信では透析中の血圧低下の原因とその対処、それらの原理について簡単に説明・紹介していきます。

1.透析中の低血圧について

透析を行なうと、血管内の水分が少なくなるので血圧が下がりがやすくなります。また1時間当たりの除水速度や総除水量が多かったりすると、より血圧が下がりがやすい状態になります。血圧が低下すると以下の図のような症状が出てきたりするので、もしこういった症状が透析中に出了場合はすぐにスタッフにお知らせ下さい。

血圧低下の症状

あくび
汗ばむ
冷や汗
胸がムカムカする
気持ちが悪い
こんな症状があれば……
胸がドキドキする
意識をなくすこともあります！

- ①看護師を呼びましょう
- ②枕を外しましょう
- ③足を上げましょう
- ④吐くときは横を向きましょう

また、透析を行なう以外にも、寝てしまったり、体勢によって血圧が変動します。特に透析中に寝てしまうと急激に血圧が下がりがやすい状態となってしまいます。



入眠すると副交感神経が優位になり、それにより血圧が低下する！

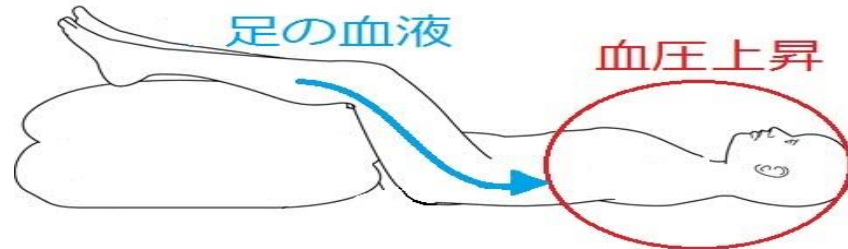
2.血圧が下がった時の対処

もし血圧が下がってしまった場合、足を上げたり、除水速度を緩やかにしたり、生理食塩水を補液するなどの対処が必要になります。

透析中の低血圧に対する治療



とりわけ透析中の下肢挙上は、ほとんどの方が経験した事があるのではないのでしょうか。『足を上げ、心臓に戻ってくる血液を増加させて血圧を維持する』という考え方に基づいた方法で、図にすると下のようなイメージになります。



逆に頭を上げ続けると足に血流が集中し血圧が急激に低下する事があります。透析中に頭を上げたり座ったりする方はご注意ください。

今回ここで取り上げたものは透析中の血圧をめぐる話のほんの一部です。日々の透析の中で何か疑問に思った点などありましたら、お気軽にスタッフまでお問い合わせください。

災害時伝言ダイヤルの訓練について

・ 日時: 毎月1日 午後3時～

掲示板に出しますのでご確認ください。